

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104



今秋 テナガザルの森 完成予定!
10/18迄休まず開園しています
ASAHIYAMA ZOO

特徴は?
ホッキョクギツネのすごいところは、夏と冬で見た目が変わること。夏は灰褐色の短い毛ですが、冬は真っ白な毛がたくさん生えた美しい姿になります。白い毛は、冬の極寒に耐えるための防寒着や毛布の役目をします。(マイナス70 まで耐えられる)しっぽ、耳の内側、足の裏にも肉球が隠れる位に生えて、寒さから身を守ります。



毛が短く、色は灰褐色

学名 *Alopex lagopus*
英名 Arctic Fox
(Polar fox)



冬

5/30 ホッキョクギツネ舎 リニューアルOPEN

旭山動物園では、7才の2頭(オス、メス)が暮らしています。餌は1日に冷凍雑7〜10匹や時々リンゴ1/2個などを与えています。この2頭が新しい施設で、どんな行動を見せてくれるのか、お楽しみに!

ホッキョクギツネの生息地は、ロシア、カナダ、グリーンランドなどの北極周辺のツンドラ、海岸地帯。施設の中に、海岸地帯に多い岩場を再現しました。地面はこれまでのチップから土に替わります。ホッキョクギツネは食べ残した餌を保存しておく習性があることから、土に穴を掘って、餌を隠す様子を観察できるかもしれません。また、手前に観察スペースがあり、堀の中にある飛び石を伝ってくると間近に見られるようになっていきます。



工事の様子



小動物舎のホッキョクギツネ舎が新しくなります。(寄贈 旭川物産販売) この施設は、ホッキョクギツネの生息地に近い環境を作るため、いくつかの工夫をしています。それでは、紹介していきましょう!



「感じて!身近な自然を学ぶ会」
5月2日開催の、「感じて!身近な自然を学ぶ会」の第一弾「草花観察会」の様子です。旭川帰化植物研究会の塩田 惇先生と共に動物園隣の「旭山」へ探検に出かけ、「カタクリ」、「エゾエンゴサク」などについて解説を聞きながら観察しました。また、問題になっている外来種の蜂、「セイウオオマルハナバチ」を駆除する活動も行い、動物と植物の関係について学ぶこともできました。

身近にある豊かな自然に触れて、自分だけの新しい発見や驚きを感じてみましょう!旭山に登ったことのない方も気軽に参加してみてくださいね。次回は6/21「三度のメシよりスズメ・カラス」を開催します。(園内にて実施)



今後の予定 申込、問い合わせTEL36-1104へ
6/21 三度のメシより スズメ・カラス
6月 フクロウ観察会
7月 昆虫を探す会
10月 三度のメシより アライグマ
木の実・落ち葉を探す会
1・2月 冬芽、動物の足跡を探す会

ぬりえ募集!

6/30応募〆切



昨年のぬりえ展示会場。(レッサーパンダ) 全国各地から2059点の応募がありました。

幼児を対象に、「エゾシカのぬりえ」を各門で配布しています。応募いただいた全作品は、8月中旬に「ぬりえ展」にて展示します。ぜひ応募ください。(ホームページからダウンロード可能)



地球温暖化展



地球温暖化について、楽しく学べるパネル展を開催中です。飼育展示係の手作りパネルで、温暖化の仕組みや世界の現状、CO²削減への取り組みなどを紹介。クイズラリー(各門で解答用紙を配布、全問正解者に抽選で記念品あり)も行っていますので、参加してみてくださいね!

~学習ホールにて7/12まで~